

市民大学講座

「ふるさとに帰って候」

十和田市出身や在住のかたを多数講師に
お迎えして開催します。

問い合わせ先 中央公民館 ☎35277

受講料無料

開講式・第1講座



6月26日(土) 午後1時30分～3時30分
市民文化センター

「歴史にみる日本の心
～新渡戸稲造を中心に～」

講師：歴史家・小説家 童門 冬二

◆新渡戸稲造博士が行った国際活動と十和田市民の地域活動の意義を考えます。(新渡戸記念館にとべ塾と共催)

第2講座



7月9日(金) 午後6時30分～8時30分
市民文化センター

「地球環境変動の実相
～本当に地球温暖化で氷河や海氷が融け出しているのか～」

講師：弘前大学理工学部特任教授 力石 國男 (市出身)

◆さまざまな地球観測データの解析結果から、地域環境問題を考えます。

第3講座



7月15日(木) 午後7時～8時30分
市民文化センター

「青少年の問題
～思春期発達の視点から～」

講師：青森県立つくしが丘病院 診療部長 栗林 理人

◆青少年を取り巻く環境が著しく変化する中で、彼らが自らの思春期の課題とどう向き合い、乗り越えていくべきなのかをお話します。(青少年育成市民大会と共催)

第4講座



7月23日(金) 午後6時30分～8時30分
市民文化センター

「日本の夜明け～今、こころの時代に～」

講師：青森県営農大 前川原 良 (市在住)

◆自己を見失うことなく、意義のある人生を築いていくために、我が国の伝統文化「タテ系」のこころを一緒に学びます。

第5講座



8月6日(金) 午後6時30分～8時30分
市民文化センター

「バレエ芸術に学ぶ」

講師：バレエ演出・振付家 野呂 修平 (市出身)

◆現代バレエの創造性と創作バレエについて紹介し、実演します。

第6講座



8月20日(金) 午後6時30分～8時30分 市民文化センター

「そんなに長くゲームをやらせて大丈夫ですか？
～元院内学級担任からの訴え～」

講師：十和田市教育相談員 木村 玲子 (市在住)

◆子どもがゲームを長時間遊ぶことによるこころと身体への影響と健やかに成長するための支援の仕方を学びます。

第7講座

9月4日(土) 午後4時～6時30分 市民文化センター

「繁殖科学を通して知る身近な動物たち
～野生動物、飼育動物、そしてヒト～」

◆十和田市において接する機会が多い野生動物の繁殖の仕組みや生態を知り、またヒトという動物を考察します。(北里大学公開講座と共催)

①「下北のサル 過去・現在・未来」

講師：NPO法人ニホンザル・フィールドステーション 理事 松岡 史朗

②「植物の中に生きるシカ」

講師：麻布大学獣医学部教授 高槻 成紀

③「クマの繁殖と冬眠の不思議」

講師：北海道大学獣医学部教授 坪田 敏男

④「生殖戦略から見た動物、そしてヒトの生き方」

講師：味の素ライフサイエンス研究所 高橋 迪雄

第8講座



9月25日(土) 午後1時～3時
市民文化センター

「歩いて若さを取り戻しましょう!!」

講師：北里大学一般教育部健康科学単位 准教授 大内 茂実

◆若さを保つために、一日一万歩を目標に歩くことの大切さについてお話します。(北里大学公開講座と共催)

第9講座



10月9日(土) 午後1時～3時
北里大学視聴覚ホール

「傷病野生動物からのメッセージ
～事故発生のメカニズムと環境治療～」

講師：環境省釧路湿原野生生物保護センター猛禽類医学研究所代表・獣医師 齊藤 慶輔

◆野生動物と関わる時、環境治療の重要性や救護の必要性についてお話します。(北里大学公開講座と共催)

第10講座・閉講式



10月22日(金) 午後6時30分～8時30分
市民文化センター

「クマに遭ったら闘いますか？死んだふりをしますか？」

講師：特定非営利活動法人 日本ツキノワグマ研究所 所長 米田 一彦 (市出身)

◆クマと共生するために、クマによる被害の状況と対処方法について学びます。

多数のご参加を
お待ちしております



※公開講座なので事前の申し込みは必要ありません。